

# 有事法案を廃案に 自衛隊は撤退を

政府・与党は、年金改悪法案を強行成立させた暴挙につづき、国会最終盤に有事関連法案も採決強行しようとしています。しかし、この有事法案は、アメリカの戦争に自衛隊を参戦・協力させ、国民も罰則付きで強制動員させようとする憲法じゅっりんの悪法です。

## アメリカの戦争に協力

有事法案では、これまでできないとされていた米軍への弾薬提供もできるよつになります。日本が攻撃されていなくても、米軍が海外で引き起こした戦争（周辺事態）に協力するために、弾薬を提供することになります。さらに土地や施設、物品の提供など米軍を支援し、港湾、空港も米軍が優先使用し、民間航空は締め出されてしまいます。

## 国民の権利を奪う戦争法

有事法案では、「国民保護」を口実にし、「住民の避難」などを取り決めていきます。しかし、国会の質問で、実際には住民を避難させるなどは非現実的であることが明らかになりました。実際におこなうのは、米軍や自衛隊の作戦遂行のために、住民を排除することです。戦争のために、国民の財産権や自由を奪う悪法です。また地方自治体や民間業者も、戦争協力を強制されます。

## イラクで何がおこっているか

米軍はイラクの都市・ファルージャを包囲する大規模な軍事作戦を展開しました。イラクの人たちの神聖な場所・モスク（礼拝堂）まで空爆し、無差別に発砲し、住民が750人以上殺されました。また米軍によるイラク人への拷問・虐待事件が発覚し、大義なき侵略戦争のおぞましい実態を見せつけました。大きな衝撃がイラク国民にひろがり、全土で米軍占領反対の世論と運動が高まっています。

米兵の死者も800人以上になり、アメリカでも、イギリスでも、世論は占領軍の撤退を求めています。

自衛隊の駐留するサマワでも、自衛隊に向けての攻撃が発生しています。憲法9条を持つ日本の自衛隊の撤退こそ必要です。

